

情報のまど

※詳細につきましては、連絡先にお問い合わせください。

※子どもの見守りボランティア※

- 【施設名】森の巣箱(新潟市西区坂井東 6-1-4)
- 【活動内容】子ども(小学生、中学生、高校生)の見守り
- 【活動日時】月曜日から金曜日 15:00~18:00
- 【連絡先】森の巣箱 電話 025-367-3019(担当:後藤)

※お話し相手、手作業、芸能ボランティア※

- 【施設名】はあとふるあたご 小規模多機能ホーム坂井東
(新潟市西区坂井東 6-23-18)
- 【活動内容】①お話し相手・手作業
*いつでも来ていただけるとありがたいです。
②歌・楽器演奏・踊り
- 【活動日時】14:00~15:00(1時間程度) ※曜日は要相談
- 【連絡先】はあとふるあたご 小規模多機能ホーム坂井東
電話 025-268-7001(担当:川村・原島)

第9号
2017.9.1 発行

ぼらちゃん

サマーチャレンジ ボランティア

みんなの笑顔が
しんや藤盛です☆

みんながボランティア
です☆



詳しくは
中頁を
ご覧ください！



社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会
西区社会福祉協議会ホームページ



社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会
西区社会福祉協議会 facebook ページ

編集後記

『ボランティア』という言葉の捉え方には種類があるのかなあと感じています。一方では“便利屋さん・人材”、一方では“やりがいのある活動”。後者の考えがもつと浸透していくと、地域や人が豊かになるのかな、と私は思います。ボランティアしている方のお話はいつも楽しく、その姿は輝いています。この輝きを大事にしていきたいです。(小林)

発行

新潟市西区社会福祉協議会
西区ボランティア・市民活動センター

新潟市西区寺尾東 3-14-41 健康センター棟 1 階
TEL:025-211-1630 FAX:025-211-1631

Contents---

- P.1 …○サマー・チャレンジボランティア 2017 学生大活躍の夏☆
- P.2~3…○“共に生きる”を学ぶこどもたち ~先生は学校の外にもいる!~
○傾聴講座開催のお知らせ
- P.4 …○情報のまど*ボランティア募集しています

ふだんのくらしのしあわせ

～こどもたちが学び・考えるふくしの世界～

主に小・中学生を対象に「“ふくし”ってなんだろう？」のお話や体験の支援をしています。これらをとおして、老若男女・障がいの有無にかかわらず、個人が個人として認められ『共に生きる』ことの大切さを伝えていきます。今年度上半期に対応した7校から2校の授業を紹介します！

自分たちが暮らすまちの『やさしい』ところや、地域のために活躍する『ひと』との出会いを通じて、まちの魅力を実感してもらった内野小学校。また、地域の方から講話をしてもらうことで、『ふくし』を身近に感じてもらう、地域の一員である自分たちがく地域のためにできること<を>考えてもらった黒崎中学校。以上2校の活動をご紹介します。

内野小学校



「“ふくし”って何だろう？」のお話を聞いています。認知症サポーター養成講座も熱心に受講しました！

地域の方と一緒に友愛訪問に行きました！「毎月楽しみに待っている」と教えてくれました。

ふれあいティールームにおじゃましました。箱折りを教えてもらったり、お話ししたり楽しかったです♪

JR内野駅の“バリアフリー”を見学しました。知らない工夫がたくさんあって、驚きました!!

同じ内野のまちで暮らす方と実際に会ってお話することで、子どもたちのなかに高齢者に対する思いやりや、大人への尊敬の気持ちがより大きくなったように思います。今回の授業はたくさんの方に協力いただきました。ありがとうございました！

表紙の1枚

サマーチャレンジボランティアとは…
学生が夏休みを利用してボランティア体験をするイベントです！

よつば福祉園の園外活動“とうもろこし狩り”に付き添った白井さんは、子どもたちに上手に寄り添いながら、とってもいい笑顔を見せてくれました。ひまわりクラブで活動した高校生ペアの堀越さんと山下さんはクラブの子どもたちから「遊んで！」と大人気。指導員から、遊びの時間を任せてもらい、2人でゲームを考え進行していました。第2みずほ園で活動した高橋さんは「たくさんの人と関わり、多くのことを学びたい」と何度も同施設で活動しています。音楽療法士を目指す高橋さんが、将来の夢のために熱心にコミュニケーションをとっている姿が印象的でした。夏休みに大きな一歩を踏み出した学生さんをこれからも応援していきます！



黒崎中学校



“福祉”の話、認知症サポーター養成講座のお話を聞きました。さらに災害時の知識も身に付けました！

笹川さんの話を聞いて
○笹川さんに必要な支援
○自分たちができることを考えました！

地域教育コーディネーターの笹川さんの実体験を聞きました。おじいちゃん
が認知症になったとき、大変だったこと、周りに助けてもらったこと。「黒崎の人は助けてくれて、とっても助かった！」とお話してくれました。

認知症サポーターとして、身近な人の「困った」を助けるため、真剣に考えてくれました。雪かきやごみ出しの手伝い、そして“積極的にコミュニケーションをとる”という意見もありました。ほんのささいなことでも、地域にとっては大きな力になることに気が付いてくれたようです。

笹川家に必要な支援を考える
黒崎地区の住民である自分たちができることは？

講座のお知らせ

ボランティアはじめての一步～傾聴力を育てませんか？～

【日程】第1回 10月 3日(火) 13:00～16:00
第2回 10月17日(火) 13:00～16:00 ※連続講座です。

【会場】西区役所 健康センター棟 1階 104 会議室

*申し込みが必要です。詳細は裏面の発行元までお問合せください。

